

児童虐待対策に関するPDM

プロジェクトの要約	指標	入手手段
上位目標		
プロジェクト目標 虐待される子どもが減少する	児童虐待による死亡事例数 児童虐待の相談件数	調査 児童相談所相談件数
成果		
1 リスクのある親への対応が充分できる	自助グループの活動を支援する保健所・市町村の数	調査
2 育児不安をもつ親への早期対応ができる	育児支援に重点をおいた乳幼児健診を行っている市町村の数	市町村母子保健事業補助金ヒヤリング
3 虐待への対応のシステム化ができている	児童虐待防止ネットワークを設置した市町村の数	市町村母子保健事業補助金ヒヤリング
活動		投入
1 リスクのある親への対応の充実強化 1-1 病気・障害を持つ親への支援 1-2 リスクを負った親への相談支援 1-3 未熟な親への支援 1-4 リスクの高い子をもつ親への支援		児童相談所 市町村保健センター 学校 精神保健福祉センター 保健所
2 育児不安を持つ親への早期対応を図る 2-1 親が孤立感を持たないような支援の充実 2-2 育児不安を持つ親に気づく対策		福祉事務所 警察 病院(小児科・産科)
3 虐待への対応のシステム化 3-1 専門機関の役割を明確にする 3-2 専門機関を県民に広く知らせる 3-3 専門対応能力の向上 3-4 関係機関の連携 3-5 虐待についての知識の県民への広報 3-6 緊急対応の強化		保育所 企業 児童養護施設 地域(近所・家族) 母子保健推進委員 民生児童委員 育児ボランティア 育児サークル 弁護士 マスコミ